

1-2 呼吸器内科

一般目標（G I O）

内科医としての一般的な知識を持つことは、前提条件とする。その上で、患者との誠実な人間関係を築き、他の医療スタッフと協力してチームの一員としての医療ができることを目標とする。さらに、代表的な呼吸器疾患についての理解を深める。

行動目標（S B O s）

1. 呼吸器内科で追加される目標
 - ① 禁煙指導について理解する。
 - ② 人工呼吸法を実施できる。
 - ③ 中心静脈穿刺について合併症を含めて理解し実施できる。
2. **基本的検査**について、ここでは特に次にあげるものを取得する。
 - ① 一般尿検査
 - ② 一般血液検査
 - ③ 動脈血血液ガス分析
 - ④ 免疫学的検査
 - ⑤ 細菌検査
 - ⑥ 肺機能検査
 - ⑦ 細胞診・病理学的検査
 - ⑧ 内視鏡検査
 - ⑨ 超音波検査
 - ⑩ 単純X線検査
 - 11 CT検査
 - 12 MRI検査
 - 13 核医学検査
3. **基本的手技**についてここでは特に次にあげるものを取得する。
 - ① 各種採血
 - ② 胸腔穿刺
 - ③ 局所麻酔法
4. **消化器内科で経験すべき症候・疾病・病態**（サマリーと必要事項の記載された用紙を提出）
 - ① 体重減少
 - ② 発熱
 - ③ 意識障害
 - ④ 視力障害
 - ⑤ 胸痛
 - ⑥ 呼吸困難
 - ⑦ 喀血
 - ⑧ 興奮
 - ⑨ せん妄
 - ⑩ 終末期の症候

- 11 肺癌
- 12 肺炎
- 13 急性上気道炎
- 14 気管支喘息
- 15 COPD
- 16 依存症

方略（LS）

1. オリエンテーション
 - ① 目標・スケジュールの確認を行う。
 - ② 病棟等関係部署で自己紹介を行う。
2. 病棟研修
 - ① 上級医とともに担当患者を、毎日回診し、問診、身体診察、検査結果の評価、治療計画の妥当性を検討する。
 - ② 主治医の指導を受けながら、診療情報提供書や各種診断書などの書類、退院時サマリーを記載する。
 - ③ 総回診、カンファレンスでは、担当患者について、簡便に過不足なく提示する。
3. 外来研修
 - ① 上級医の外来診療に同席し、定期受診患者、初診患者の診察。日常生活のマネジメントについて勉強し、疾患に特徴的な症状・診察所見について学習する。
 - ② 受け持ち患者の外来受診に同席し、退院後のフォローについて学習する。
4. 救急外来研修
指導医とともに診察を行い、診断に必要な検査のオーダーとプライマリケアを行う。
5. 各種カンファレンス・勉強会に参加する。
6. 以下のチーム医療に参加する
 - ① ICT
 - ② 緩和チーム
7. 自主学習
 - ① 図書館の書籍、インターネット、DVDも活用して知識（ガイドラインなど）、手技、態度を学ぶ。
 - ② スキルラボにて手技の習得を行う。

評価（Ev）

評価は、内科プログラムの評価に従い、観察記録とし、研修医および指導医が1か月毎に行う。

研修スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	血ガス分析	一般外来研修	血ガス分析	血ガス分析	血ガス分析
午後	気管支鏡検査		呼吸器カンファランス	気管支鏡検査	呼吸器カンファランス

- ① 血液ガス分析：月～金 《8：30～》
採血するだけでなく、その評価が重要であり、その結果により適切な酸素療法を施行する。
- ② 気管支鏡検査：月・木・(金) 《13：30～》
検査助手として参加。(麻酔、できれば気管支鏡の操作も。前日の気管支鏡カンファランスが重要。)
- ③ カンファランス：水 《18：30～》金 《15：00～》
受け持ち患者は、プレゼンテーションしてもらう。
- ④ 一般外来研修 (並行研修)